

イノベーション・ヒストリー ～イノベーションを学びイノベーションを興す～

新たな価値を創造、具体化するプロセスを体験しイノベーションを発掘

本セミナーは、イノベーションの原動力は「哲学」から生まれる「熱い思い・欲求」であり単に書物の上の知識や日々の体験だけでは醸成されない、という仮説に基づいて構成される。そこで自動車の開発史を紐解きながら共通項を纏めたイノベーション創出理論をベースにワークショップ形式でイノベーション創出を体験する。

ワークショップは、「ホンダ・ワイガヤ」というブレインストーミング手法を使ってアイデア創出から企画書づくりまでを体験し、発表形式による参加者全員の審査を受けて終了する。常識を逸脱した非常識とも思える発想で新たな価値を創造し、具体化するプロセスで遭遇する課題の突破思考を体験することで、まだ表面化していない潜在的なイノベーションを発掘する能力を養う。この経験を重ねることで哲学的思考が身につくことを期待する。

学習時間

合計 約 **8** 時間

対象者

入門
レベル**初級**
レベル**中級**
レベル発展
レベル

開催場所

貴社指定場所
(応相談)

講師プロフィール



清水 康夫

東京電機大学・名誉教授

東京電機大学工学部精密機械工学科卒業。博士（工学）。本田技術研究所定年退職後現職。特許出願件数520件以上、電動パワーステアリング(EPS)の発明と世界初の実用化及び普及拡大により紫綬褒章受章。可変ギヤ比ステアリング(VGS)の発明と世界初の実用化など操舵装置の電子制御化技術による自動車の進歩発展への貢献により自動車技術会賞技術貢献賞受賞。その他に全国発明表彰・特別賞・特許庁長官賞、市村産業賞・本賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（開発部門）など受賞。東京電機大学では、「車両運動制御やドローン」に係る先端技術の発明と実用化研究に従事。

講師についてもっと詳しく /

<https://researchmap.jp/7000010106>

特徴 1



理系文系などの分野に関わらず参加できる

セミナーはイノベーションの歴史からスタートし、身近な道具を使ってワークショップを行います

特徴 3

Function Flow Block Diagram
機能の視点

②代表的機能(主機能)

ポイント:目的を認識する

③サブ機能

④サブサブ機能

システマチックにアイデア出し、構想設計ができる

特徴 2



ホンダ“ワイガヤ”をベースにしたブレインストーミングを体験できる

4名1グループ単位でのワークショップにより、アイデア出しから構想設計、企画提案書づくりまでを体験します

特徴 4

8. 企画書作成

TOPからの指示:現状製品を改良してイノベーションを起こす

1. 開発目的:「快適・清潔な焼肉ライフを提供する焼き鳥店」

開発目標:「～焼き鳥をスムーズに取り外す～」

(リabilit)



研究開発マネジメントのセンスを養うことができる

イノベーションに必要な「発明」、「パラダイムシフト」、「訴求」までの一連の流れを体験することにより研究開発マネジメントのセンスを養います

プログラム

1. イノベーションとは？		
(1)	私たちが切するイノベーションとは？	
(2)	自動車の開発歴史から学ぶイノベーション	
(3)	ホンダ“ワイガヤ”に学ぶイノベーション実践	
2. ワークショップⅠ How to create		
(1)	グループ編成、自己紹介	
(2)	会社を選定	
(3)	自社製品分析(FFBD:機能で表現)	
3. ワークショップⅡ What to create		
(1)	開発目的・目標の創作	①欲求の醸成（課題創出） ②開発目的の創作 ③開発目標の創作
(2)	開発目的・目標の具現化	①開発目的・目標に合わせて機能をデザイン ②機能を実現する実体と構成をデザイン
4. ワークショップⅢ Make a proposal		
(1)	開発目的と開発目標	
(2)	天・地・人・彼我比較	
(3)	従来機能	
(4)	従来（製品）機能の課題	
(5)	FFBD⇒“実体”の検討プロセス説明	
(6)	実体説明 アピールポイントと今後の課題	
6. ワークショップⅣ Presentation & Assessment		
(1)	各グループ発表	
(2)	グループ討議(Q&A)	
(3)	評価	
7. 事例研究：世界初のパワーステアリング電動化技術で自動車にイノベーション		

本講義内容・時間はご提案です。

実際には、ご希望をうかがった上で、内容や時間など御社に最適なプログラムとなるようカスタマイズいたします。

ご質問・お申し込みは、お気軽に担当者または右記窓口までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

東京電機大学 リスキリング事務局

Eメール：information-tdudtec@jim.dendai.ac.jp

電話：03-5284-5202（学長室内）

（3営業日を目安にご連絡いたします）